

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」千曲校			
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～	2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		～	2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育を中心に行っていることから、感覚的にデリケートなお子さまに対しても、安心してご利用いただけること。	刺激のコントロールをパーテーションを使用する等して行い、安心して過ごせる空間となるよう工夫しています。	引き続き、特性や発達段階をしっかりと見極めるとともに、研修等での情報交換を行い、より専門的な支援を目指してまいります。
2	児発小集団活動にて朝の会、個別の活動、帰りの会に取り組むことで、身辺自立課題(幼稚園・保育園へ移行した時に自分でお仕度ができるようなサポート)や集団への移行サポートがあります。	絵カードを使用し、見通しを持って安心して活動に参加できるよう工夫しています。	トイレトレーニングなど園生活での手助けとなるよう取り組んでまいります。
3	法人内で発達研究所研修を月1回テーマ研修で受講しています。その他法定研修、虐待・身体拘束、BCP、安全計画などにも参加し職員の知識向上につとめています。	法定のものに限らず職員のポジションやニーズに応じた研修が社内で設定され、それらに参加することができている。また外部の研修にも希望をすれば参加することができる。	職員一人ひとりの質を高めていけるよう引き続き研修参加を行う・外部での研修についても職員が参加できるよう調整を適宜行ってまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会の提供	主に個別支援を提供しているため、地域資源との関わりや繋がりへのニーズが希薄でした	ご利用者様のご要望に応じて、地域の事業所等と少しずつ連携していけるよう努めて参ります
2	ご家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等も参加できる研修会等の提供	外部の研修についてのお知らせは教室に掲示して情報提供しております。ご家族等も参加できる研修会の実施については、日程や会場の調整が難しく未実施となりました	年に数回行っている小集団療育やイベントに合わせ、ご家族等も参加できる研修等の企画を前向きに検討して参ります
3	個別中心のお子さまは他児と関わる機会がすくないこと。	同じ時間帯に同年代のお子さまの利用がないこともある為。	併用している、集団活動を主としている他事業所との連携につとめてまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				利用児童数		回収数	
こどもサポート教室「きらり」千曲校		2025年 2月 15日				6名		6名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	0	0	0			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6	0	0	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	1	0	1		今後も安全面に注意していけるように、出来る限り構造化等を含めた環境作りを継続して参ります	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	6	0	0	0			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	0	0	0			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	0	0	0			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6	0	0	0			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	0	0	0			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	0	0	0			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	0	1	1		現在は実施できていませんが、今後、参加できる交流があれば必要に応じて参加いたします	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	0	0	0			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6	0	0	0			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	0	2	0		ペアレント・トレーニングは実施できていませんが、保護者様が参加できる研修会や講演会のお知らせは教室に掲示し、情報共有の機会を設けております	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6	0	0	0			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	0	0	0			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	0	0	0			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	1	1		保護者会の開催を準備しております。詳しい内容が決まり次第ご案内してまいります。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	0	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	1	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	0	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	0	1	1		毎月防災訓練を実施しております。教室公式Instagramでの公開やホームページでも公開し、教室内に実施報告の掲載をしてきました。今後も継続して取り組んでまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	0	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5	1	0	0	支援員の先生によって、慣れないせいか嫌がってしまうことがあります。	支援終了後に都度、職員間でお子さまの情報共有を行い、どの職員が支援に入っても通所を楽しみにしてもらえるよう取り組んでまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	6	0	0	0		ありがとうございます。今後もお子さんの成長発達をサポートを丁寧に取り組んでまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」千曲校		公表日		2025年 2月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	小集団活動に安心して参加できるよう適切なスペースを確保し療育を行っています。	より安心して過ごしやすい環境となるよう配慮してまいります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	職員の配置は、指定基準を遵守しています。	今後も指定基準遵守に努めるよう最大限の努力をしております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	パーティションで空間を分け、特性に応じて視覚への刺激を少なくする等の環境作りにつとめています。	段差等についてはお子さまが安全に使用できるよう指導員が補助を行う等の対応を続けていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	毎日清掃・消毒を行い、お子様のケガ防止のための環境づくりに配慮しています。	感染予防に重きを置いて、玄関の手すり等の消毒の実施や、使用玩具・教材等の消毒も丁寧にしております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	パーティションで区切り個別のスペースを作ることができています。	今後、個室も使用できるよう検討してまいります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	毎朝朝礼にて業務改善を図っています。	研修の成果を活かしていきながら、指導員・児発管ともに考えあつていく中でのお子さま、保護者様のニーズに寄り添っていきようつとめてまいります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	保護者様への満足度調査アンケートを実施し、業務改善につなげています。	保護者様からの発信をしやすくする工夫について検討してまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	毎日職員間の意見交換の機会を設けています。	全職員が共通意識を持って業務を行っていただけるよう業務改善に繋げていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4	利用者・社内の2者評価を中心に行っています。	事業所改善につなげるため、今後行えるように努めてまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	1ヶ月の初任者研修、事例検討会等の研修を実施しています。	今後も、様々な分野の研修に参加する機会を設け、積極的に参加し、研修内容を取り入れてまいります。	
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	0	4	5領域すべてを含めた総合的な支援プログラムを作成し、公表できる準備を進めています。	今後、公表できるよう手順を踏んでまいります。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	計画期間ごとにアセスメントを取った上で個別支援計画を作成しています	アセスメントを行っていく際には、保育園や幼稚園、家での姿も大切に、そのアセスメントを元に保護者様のニーズを客観的に捉えた上で、支援計画を事業所内支援者会議で検討し、計画を作っております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	実際にお子さまの支援に関わっている全職員が共通理解のもと、事業所内支援者会議を行い個別支援計画作成に携わっています。	全職員が共通理解を持てるよう会議を行ってまいります。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	定期的なモニタリング、個別支援計画の見直しを行うことで、職員間で情報を共有し計画に沿った支援を行っています。	今後も事業所内支援者会議で支援の方向性を合わせて、計画に沿った支援に取り組んでまいります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	統一したアセスメントシートを使用しています。その中で日々の行動観察などインフォーマルな事も確認しています。	今後と同様に対応してまいります。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	アセスメントを元に、5領域を含めた総合的な個別支援計画を策定し、ガイドラインの項目に沿った支援を行っています。	今後も、児童発達支援ガイドラインを遵守し、お子さんの心身共に健やかな成長発達に沿った支援の設定を行えるよう、アセスメントを丁寧に、事業所内支援者会議等で考え合いながら取り組んでまいります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	日々のミーティング等でお子様の事例を共有し、擦り合わせを行っています。	今後も、様々な角度からの視点を持って活動プログラムを立案してまいります。	

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	お子さま一人ひとりの特性や気持ち・興味に合わせて、効果的に楽しく学べる指導を追求しています。次の学びにつながる成功体験を重視し、やりたくないことをやらされるのではなく、お子さまが自発的に適切な行動を取れる、学びやすい指導環境を整えています。	複数の職員の意見や研修で学んだ事を取り入れることで固定化を防ぎ様々なプログラムになるよう取り組んでまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	日々のミーティング等でお子様の事例を共有し、擦り合わせを行っています。	今後も、様々な角度からの視点を持って活動プログラムを立案してまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	朝礼を日次で実施し、職員の具体的な動きが確認できるよう情報共有を行っています。	今後も、情報共有や活動内容の確認を行い、役割確認を行ってまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	翌日の朝礼時のほか、必要と判断した際に情報共有を行っています。	今後も、支援後の情報共有を行い、成長発達の内容に活かしてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	毎回支援記録をとり見直すことで、お子様の成長や取り巻く環境の変化に合わせて、指導内容や方法を更新しています。	今後も、〈ねらい〉に対する支援記録を大切にを行い、今後の支援に役立ててまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	6ヶ月に1度計画更新を行っていますが、保護者様との振り返りや職員間での情報共有の中で新たに課題が挙げられた場合は、その都度見直しを行っています。	今後も支援計画の見直しに役立ててまいります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	教室内全てのスタッフがお子様の状態を把握しチームでの支援を展開しています。会議には児童発達支援管理責任者や指導員の誰が参加してもわかるように情報共有を心がけています。	今後も同様に取組んでまいります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	支援会議等で情報共有を行い、その後のより良い支援に生かしています。	情報共有を行い、支援の方向を同じくして連携を大切に取組んでまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	支援会議等で情報共有を行っています。	今後も、入園先へ丁寧な情報提供を行い、お子さんが安心して入園していけるよう、連携を行ってまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	支援会議等で情報共有を行っています。	今後も、就学先へ丁寧な情報提供を行い、お子さんが安心して進学していけるよう、連携を行ってまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	0	外部専門家による研修や教材・プログラムの監修を行っています。	今後も各関係機関との連携を大切にしながら、研修へも積極的に参加していきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	4	交流については、限られた指導時間の中で実施が難しいことから、イベント等で利用者全員に画一的に実施することはしておりませ	ご要望に応じて検討していきます。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	毎回の支援終了後に、保護者様へフィードバックの時間を設け支援の様子をお伝えし、課題の共通理解を行っています。	今後も情報共有を行い、お子さんの支援について発達の様子を共有し、共に発達をサポートしてまいります。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	5月に発達研究所の山本所長の講演会を開催いたしました。	今後も、ニーズに合わせて開催できるよう支援内容も検討しつつ準備してまいります。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	運営規程、利用者負担等について、契約時に丁寧にご説明するとともに事業所内に重要書類を掲示しています。具体的な支援の内容については、個別支援計画の提示面談時に説明するとともに毎回の支援終了後に保護者様へフィードバックの時間を設けています。	職員間で内容の確認をし、保護者様からの質問には随時対応していけるように致します。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	アセスメントシートやモニタリング、支援終了後の保護者様とお話し合いによって意向等お聞きしています。	今後も同様に取り組んでまいります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	契約や計画更新時等で支援内容の説明を行い、保護者様から同意を得ています。	支援のねらいがどこにあるのかとということが伝わるように、保護者様の立場に立って説明を心がけるようにしてまいります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	主に支援後のフィードバック時に相談に応じております。	定期的な相談日の設定を希望される保護者様には、そのような対応も行っていきたいです。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4	今年度、保護者会等は実施していません。	今後はご家庭の要望を踏まえ、交流会や座談会の開催を予定してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	事業所に受付者・解決責任者を選任する等の受付体制を整えるとともに、専用のお問い合わせ窓口電話を設置しています。相談や申入れに対しては、社内フローを定め迅速かつ適切に対応しています。	相談しやすいように、保護者様やお子さんとお話をする機会について周知を大切にしております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	インスタグラム・Lineでの発信や教室内に活動内容やイベントのご案内等を掲示しています。	今後もできる限り発信を行ってまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	個人情報が記載された書類は鍵付き書庫に保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切な対応を行っています。	個人情報の取り扱いに関する研修を開催してまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	合理的配慮を推進し、お子様・保護者様の状態に応じて、ICTやその他視覚的情報などを活用して意思疎通・情報伝達等を実施しております。	ケースに合わせて、柔軟な対応を心がけていきます。
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	0	月に数回イベントを開催し、無料で見学・体験できる機会を設けています。	今度も同様に取り組んでまいります。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	マニュアルを策定し、定期的に研修・訓練を実施しています。	今後も、年度始めに防災訓練計画を立て実施してまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	月1回の避難訓練を実施しています。	今後も、年度始めに防災訓練計画を立て実施してまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	保護者面談や支援者会議等でお子様の状況を確認しています。	年度始めに情報を更新していけるようにしていきたいです。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	全てのお子さまについて、アレルギーの有無を確認し、指導時に該当物質との接触が起こらないよう留意しております。	今後も同様に対応してまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	定期的に点検、研修、訓練を実施し、安全管理を行っています。	今後も同様に対応してまいります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	インスタグラム・Lineでの発信や教室内に活動内容やイベントのご案内等を掲示しています。	今後も同様に対応してまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハットの報告書を作成・保管し、職員間で共有しています。	事例を知ることで、発生の防止に繋がっていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	マニュアルを策定し、研修を実施しています。	今後も、県や市が開催する虐待研修に積極的に参加し、そこで得た情報を事業所内虐待防止研修で共有してまいります。

53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	マニュアルを策定し、研修を実施しています。保護者様へは、契約時に丁寧に説明し、個別支援計画の特記事項にも記載しています。	今後も計画書への記載を行い、緊急時の対応について事前説明を行っていくようにいたします。
----	--	---	---	--	---